

私たちは金銭を追い求めた結果、命をけずり、効率優先の世の中に大切なものを捨ててきたのではないのでしょうか。もういちどそれを拾い上げ、つなげていくことを考える場として、第19回環境保全型農業フォーラムを開催します。

農と暮らす

命の原点・地域と暮らす

内容 場所 時間 とき

平成二十二年三月七日(日)

九時から十六時

山口大学 大学会館大ホール

午前 …… 基調講演「吉賀町の有機農業の取り組み」

講師 福原 庄史氏

参加費 五百円

昼休み …… 会員が育てた米を使ったランチ(有料)

ロビー交流会

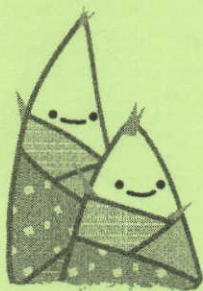
午後 …… 事例発表

「定年帰農と若者たちの農ある暮らしへの挑戦」

光市 小田 耕三さんのグループ

「衰退する地域の活性化のために」

田布施町 麻考会



主催：山口県環境保全型農業推進研究会(略称：環保研)

問合せ：083-925-1511(FAX 兼)佐藤 083-923-2414(FAX 兼)小田

0825-52-1390(FAX 兼)木村 083-956-0511(FAX 兼)吉松

環保研とは…自然の生態系を生かし、自然の循環・摂理を守るために、化学肥料・農薬などの人工化学物質や放射性物質・遺伝子組み換えなどを使用しない農法の研究、実践をしています。

200名近い会員は、生産者以外にも消費者・農業研究者・学生なども加入し、対等な関係で活動しています。

◆プログラム◆

9:00 開場、受付開始

9:30 開会

あいさつ 山口県環境研 会長 糸原 義人

9:45 基調講演 『吉賀町の有機農業の取り組み』

講師 福原 匠史 氏

プロフィール：昭和24年4月柿木村に生まれる。昭和47年9月柿木村役場に就職。平成21年3月吉賀町役場（旧柿木村役場）を退職。現在は、農業をしながらNPO法人ゆうきびと代表として、広島にて土日ごとに、広島・島根の有機農産物を消費者へ紹介している。

今回の講演では、75名登録している柿木の有機農業研究会、有機野菜組合、有機米研究会を組織してきた苦労やノウハウなどをお話していただきます。

11:45 質疑応答

12:00 昼食

学生食堂にて、会員が育てた米を使ったランチを召し上がることができます。（有料）ロビーにて、書籍販売やこの日しか入手できない純米吟醸酒「身土不二」の生しぼりと酒かすが数量限定で頒布されます。写真展示等の活動紹介もありますので、大いに交流を楽しんでください。

13:00 事例発表

(1) 「定年帰農と若者たちの農ある暮らしへの挑戦」

発表者 小田 耕三さんのグループ（光市）

定年後Uターンされ、田畑を借りて有機稲作をスタート。現在では、田圃アートと田布施西小学校の課外授業にも携わる。近年、農業に関心のある若者たちも参加するようになった。

(2) 「衰退する地域の活性化のために」

発表者 麻考会（田布施町）

田布施町麻里府小学校の校庭に猪が出没し、校庭を荒らしたことをきっかけに、山口型牛放牧を始める。今では休耕田の再生、地域おこしもなっている。最近では若者たちが、休耕田で自給のための有機農業を始めるようになる。

(3) 問題提起「ミツバチの大量死～ネオニコチノイド系農薬の危険性～」

発表者 吉松 敬祐さん（山口市阿東）

15:00 総会

前年度活動、決算報告、活動方針提案など

16:00 結語

後援：山口県有機農業推進団体協議会

共同団体：EM「めだかの学校」、栄養士ネットワークぽこぽこ、NPO法人まちのよそおいネットワーク、やまぐち里山ネットワーク、小郡幼稚園、環境・食・農をまもる会、菊川レインボー稲作研究会、するーふーどらいふ山口・ネット和、なないろわたげ、農業・農協問題研究所中四国支部、MOA自然農法文化事業団、山口県田んぼの学校、山口県有機農産物認証推進協議会、山口有機米愛好会（50音順）